

いしかわ生活工芸ミュージアム

企画展「和紙をつくる。和紙をつかう。」および企画展「孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る」
 取材のお願い

いしかわ生活工芸ミュージアムでは、令和7年12月19日（金）より、企画展「和紙をつくる。和紙をつかう。」と「孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る」を同時開催いたします。

取材・報道関係の皆様におかれましては、ぜひ本展をご紹介いただきたく、取材をお待ちしております。

工芸体験企画・企画展のご案内

主催: いしかわ生活工芸ミュージアム

企画名	① 和紙をつくる。和紙をつかう。	② 孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る
会期	2025年12月19日（金）～2026年3月9日（月） 9:00～17:00（①②ともに最終日は15:00終了）※毎週木曜日、12/31～1/3は休館	
会場	1F ギャラリー	2F 第4展示室
入場料	入場料：無料	大人（18歳以上 260円、65歳以上 210円） 小人（17歳以下 100円）未就学児無料
内容	<p>和紙は、楮や三桠などの植物繊維を丁寧に漉き上げる、日本古来の紙です。天然素材ならではの強さとしなやかさを備え、千年以上前の和紙が正倉院に残るほど保存性に優れています。石川県でも、加賀藩の庇護を受けて発展した「加賀二俣和紙」、県産雁皮を用いる「加賀雁皮紙」、能登の自然を活かした「能登仁行和紙」など、土地ごとに特色ある和紙が受け継がれてきました。本展では、石川に根づく伝統技術を守り続ける和紙作家による紙そのものの魅力に加え、和紙を活かしたアート作品や暮らしの小物もご紹介します。</p> <p>【関連イベント】 • 2/23（月・祝）「和紙を漉いて作るミニ屏風」</p>	
<p>九谷興子（1911-1998）は、造形と彩色を自らで行い、陶芸に独自の表現世界を切り拓いた作家です。能美市根上中学校の講堂外壁を彩る陶壁《太陽のこぼれる町》をはじめ、国内外で多くの陶壁作品を制作し、スケールの大きな創作に挑み続けました。本展では、陶のオブジェや器に加え、油彩や着物など多彩な作品を一堂に紹介します。制作の背景にあるエピソードや、着想の源となった風景・伝承にも触れながら、九谷興子の創造の軌跡をご覧いただきます。</p> <p>【関連イベント】 • 1/18（日）「上絵付け体験 興子人形をキャラデザインしよう！」</p>		

今回の工芸体験企画および企画展の資料掲載先

※下記HP下部にチラシPDFリンクあり

<https://www.ishikawa-densankan.jp/wp-content/uploads/2025/12/2025_和紙をつくる%E3%80%82和紙をつかう%E3%80%82_九谷興子.pdf>

お問い合わせ及び取材申し込み先

いしかわ生活工芸ミュージアム（石川県立伝統産業工芸館）

金沢市兼六町1-1 TEL076-262-2020

広報担当（弓場）E-mail : yuba@ishikawa-densankan.jp

和紙をつくる。 和紙をつかう。



Making Washi, Using Washi.

石川県立伝統産業工芸館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS

2025.12.16(金)→2026.3.6(日)

会場:1Fギャラリー

九谷興子

Koshi Kutani:
The Solitary Potter

石川県立伝統産業工芸館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS

いしかわ生活工芸ミュージアム

会場:2F第4展示室

2025.12.19 Fri
→
2026.3.9 Mon

九

孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る

水引ぼち袋



(体験料/¥500+入館料)

織細工



(体験料/¥500+入館料)

※1/4から体験料¥600

組子のコースター



(体験料/¥1,200+入館料)

太鼓の体験 カスタネット



(体験料/¥770+入館料)

【受付時間】

①9:00~11:00 ②13:30~16:00

【所要時間】

いずれも約20分程度

※5人以上で体験希望の場合は3日前までに電話予約をお願い致します。TEL:076-262-2020

※上記の体験はいずれも当館2Fへの入館が条件となっております。入館料は下記をご覧下さい。

和紙をつくる。 和紙をつかう。

Making Washi, Using Washi.

和紙は、楮(こうぞ)や三桠(みつまた)などの植物繊維を丁寧に漉いてつくるられる日本古来の紙です。天然素材ならではの強さとしなやかさをもち、長い年月に耐える保存性に優れています。正倉院には、千年以上前に使われた和紙が今も残されているほどです。石川県でも400年以前から献上紙漉き場として加賀藩の庇護を受けた「加賀二俣和紙」や240年余り前から加賀平野で県内産の雁皮を使用して漉かれ始めた「加賀雁皮紙」、能登の豊かな自然を素材に、親しみやすい和紙に仕上げた「能登仁行和紙」など、それぞれの用途に適した各種和紙が今も地域に根付いています。

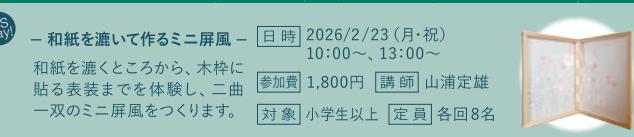
本展は、石川の地で伝統の技術を連綿とつないできた和紙作家たちのつくる和紙と、和紙を使った様々なアート作品や日常の生活小物などを集めた企画展です。それぞれの和紙の個性を楽しみながら、ほっこりした世界感を味わっていただけましたら幸いです。

出展者: 加藤和紙(加賀雁皮紙)、紙漉き工房のわし(和紙)、久田和紙みわ会(久田和紙)、黒川鈴代(和紙造形作家)、斎藤博(金沢二俣和紙)、遠見和之(能登仁行和紙)、山浦定雄(和紙造形作家)、吉田政己(和紙造形作家)、創作和紙工房まるとも(和紙製品製造)

期間 2025年12月19日(金)~2026年3月9日(月)

会場 1Fギャラリー(無料ゾーン)

時間 9:00~17:00(最終日のみ15時まで)



WS day 和紙を漉いて作るミニ屏風 - 日時 2026/2/23(月・祝) 10:00~、13:00~

和紙を漉くところから、木枠に貼る表装までを体験し、二曲一双のミニ屏風をつくります。

対象 小学生以上 定員 各回8名

予約はホームページで受付中。当日も空きがあれば飛び入り参加大歓迎!

いしかわのすてきなもの MIKKE

ミュージアムショップでは長谷川真希さん(金属工芸)、石田貴博さん、石田貴将さん(藍染)の作品を期間限定で販売します。

期間: 2025年12月19日(金)~2026年3月11日(水)



神棚や玄関に飾っていただける、南進さん手書きの蓬莱をお配りしています。数量限定のため、ご希望の方はお早めにご来館ください。



次回企画展

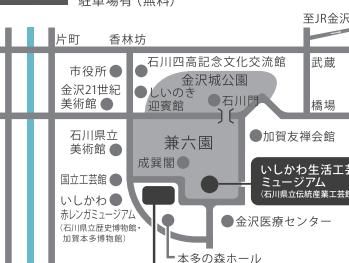
3/13(金)~5/11(月)

野に遊ぶ工芸
釣り人日和

交通案内

バス JR金沢駅より北鉄バス小立野方面行きに乗車 約15分。出羽町で下車、徒歩1分。

タクシー JR金沢駅から約15分。北陸自動車道金沢東または金沢西インターから30分。駐車場有(無料)



伝統工芸士、職人による実演・体験の日程

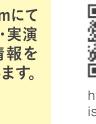
12月	20(土) 加賀織 ★	1日(日) 山中漆器 ★	★マークは体験あります。
	21(日) 加賀織	7日(土) 加賀毛針	
	27(土) 金沢仏壇	8日(日) 加賀毛針	
	28(日) 金沢仏壇	14(土) 茶の湯釜	
1月	10(土) 加賀友禅	15(日) 茶の湯釜	
	11(日) 加賀友禅	20(金祝) 郷土玩具 ★	
	12(月祝) 加賀友禅	21(土) 九谷焼	
	17(土) 金沢仏壇	22(日) 九谷焼	
	18(日) 金沢仏壇	23(月祝) 九谷焼	
	24(土) 金沢漆器 ★	28(土) 山中漆器 ★	
	25(日) 金沢漆器 ★	29(日) 和紙仁行 ★	
	31(土) 加賀獅子頭		

【実演時間】午前10時から午後3時まで(正午から午後1時までは休憩)
【実演場所】1階エントランスホール ※日程は変更となる場合がございます。※詳細はいしかわ生活工芸ミュージアムまでお問い合わせ下さい。



Instagramにて
工芸体験・実演の
最新情報を
載せています。

@densankan



電子チケット
販売サイト

https://www.e-tix.jp/
ishikawa-densankan.jp



HP
サイト

体験予約はこち
ら



いしかわ生活工芸
ミュージアム

いしかわ生活工芸
ミュージアム

開館時間

午前9時~午後5時
(入館は午後4時45分まで)

休館日

4月~11月 毎月第3木曜日
12月~3月 毎週木曜日および
年末・年始(12/31~1/3)
(祝日の木曜日は除く)

入館料

1階:無料	個人	団体(30名以上)
2階:有料		
大人18才以上	260円	210円
大人65才以上	210円	210円
小人17才以下	100円	80円

いしかわ生活工芸ミュージアム 金沢市兼六町1番1号
(兼六園小立野入口隣り)
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF
TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS
Tel:076-262-2020 Fax:076-262-8690

Open hour: 9:00~17:00 (last admittance at 16:45); Close: April to November: 3rd Thursday of the month (except Holiday Thursdays). December to March: Thursdays. The year-end and New Year holidays; Address: 1-1 Kenroku-machi, Kanazawa-shi, Ishikawa-ken 920-0936, Japan

九谷興子(1911-1998)は、造形と彩色を一貫して自身の手で行うことで、陶芸に新たな表現を切り拓いた作家です。能美市根上中学校の講堂外壁に設置された陶壁《太陽のこぼれる町》をはじめ、国内外に多くの陶壁作品を残しました。大胆な造形と鮮烈な色彩により、九谷焼の伝統に新たな息吹をもたらしました。本展では、陶のオブジェや器のほか、油彩・着物など、多岐にわたる作品をご紹介します。併せて、制作の背景にあるエピソードや着想の源となった伝承・風景に触れながら、その創作の軌跡をたどります。

九谷興子――

南加賀の寺に生まれた九谷興子は、絵画制作や築窯・発掘に情熱を注ぎ、鈴木大拙や須田国太郎、中村岳陵、加藤唐九郎らに師事し、陶芸の道に進みました。日本橋三越での3回にわたる個展や海外での文化交流としての個展などで幅広く活躍。70歳を超えて突如、巨大な陶壁画への挑戦を始め、7つの大作を完成し、それは今も石川県内を始め国内各所に作品が残されています。そして、1998年3月16日に87歳でこの世を去りました。普通の九谷焼とは類を異にしつつも郷土をこよなく愛し、「極火即是業火」という画論のもとに生きた生涯でした。

破天荒にも見える生き方をした九谷興子の作品は、これまでまとまった形であまり公開されていません。九谷興子の仕事の奥深さを探ると、また新しい感動が生まれるのではと期待しています。

一人でも多くの方に、九谷興子の思いのだけをぶつけた絵画や陶芸の作品をご堪能いただき、生きるエネルギーを感じていただければ幸甚に存じます。

協力: 有限会社興善、興子プロジェクト 佐倉康之

期間 2025年12月19日(金)~2026年3月9日(月)

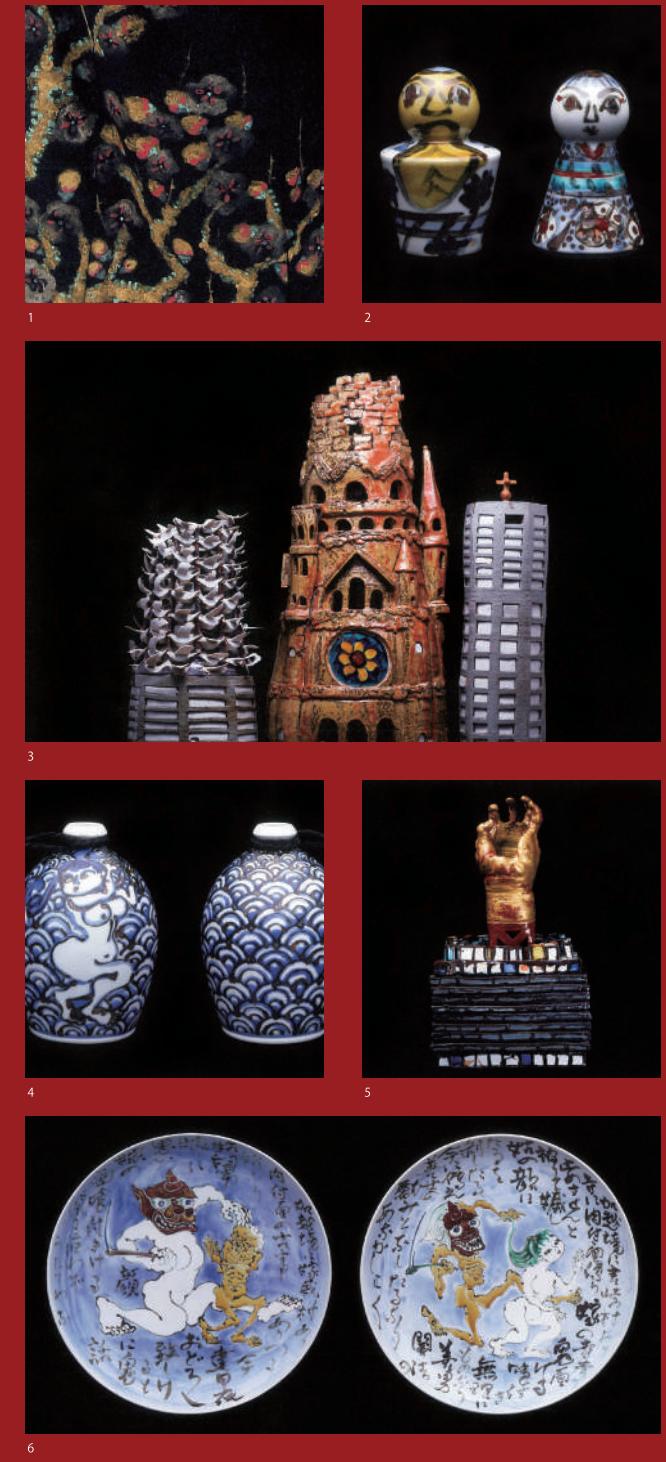
会場 2F第4展示室(有料ゾーン)

時間 9:00~17:00(最終日のみ15時まで)

WS day 上絵付け体験 興子人形をキャラデザインしよう!
九谷興子が制作した実際の人形に上絵付けを行います。完成した作品は当館で展示し、会期終了後にお渡しします。
※2/23に開催されるミニ屏風にピッタリのサイズのお人形です。

予約はホームページで受付中。当日も空きがあれば飛び入り参加大歓迎!

孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る



*Koshi Kutani:
The Solitary Potter*